

# 輝く!! 富(む)山の仕事人!!

川上～川下まで、森林・木材に関わる様々な分野で頑張る人を紹介します。

2 仕事の内容

現在は、保育施業班に所属して、無花粉スギの植栽・下刈りをはじめ、除伐、間伐なども行っていますが、大径木の主伐経験はまだありません。

組合の先輩方は、人柄もよく、尊敬できる人も多い。特に上司である班長は、仕事をするの段取りをテキパキとされ、仕事をするときと休む時のメリハリが利いていて、日々

1 就職したきっかけ

幼いころから、自然に対する興味が人一倍強く、気の赴くままに景色のいい場所を歩いたり、自然や風景の写真を撮ったりすることが好きだと話す石山さん。

大学では、物理学を専攻していたが、在学中に「自然に向き合った仕事がしたい」という思いが日に日に強くなつていき、「思ひ立つたら吉日」と、新川森林組合に就職されました。



イシヤマ ユウダイ  
石山 雄大さん  
東福寺野自然公園(滑川市)にて

新川森林組合  
石山 雄人さん

3 普段の生活

趣味は「ゲームと読書」。大学在学中は将棋部に在籍し、学生将棋大会にも出場していたこともあり、最近もネット将棋にハマついていて、「自称アマチュア2段」の実力のこと。《ネットで「アマチュア2段・強さ」で調べたところ、「駒をベタベタ打つ詰ませれる簡単な7手詰ではなく、駒をただ捨てる手や妙手などの手筋を使って解く詰将棋が解ける」、「11手詰が解ける実力」と書いてありました。ただただすごい。》

現場は、携帯電話の電波が届かないところが多く、ミステリー小説が好きで「島田莊司の御手洗潔シリーズ」を力バンに一冊忍ばせて、昼休みに読んでいたとのことでした。

基本インドアな石山さんですが、最近は友人に無理やり誘われて仕方なく行つたビーチバレーにハマっています。





新川森林組合から森林整備の現場で活躍している若手、石山雄大（24才）さんを紹介します。

多くのを学ばせてもらっている「目標とする人」とのことでした。自然に向き合った仕事ではない事が続くこともあるときは、「これがやりがいのある仕事?」と疑問に思うことも以前にはあったが、最近は、それも経験と考えるようになったそうです。

4 林業について思うこと

4 林業について思うこと

近年、「SDGs」や「環境問題」というキーワードをマスク等で耳にする機会が増えていることから、世の中の意識がより強く地球環境保全に向いていることがわかります。

「自然を大切にしよう」と口で言っているのは誰にでもできる。しかし、自然是、森から成り、森は木から成り、その一本一本の成長に正面から向き合つていい林業という職業は、最も自然に向き合っていると考え、その仕事に就いていることを誇りに思っています。

少なくとも私には、「口で言わなくても、より良い木を育てよう」と考えている林業はカッコイイと見えます。

最後に「これからも目の前の一つ一つのこと真っ直ぐ取り組み、何でもできる人になりたい」と力強く語ってくれました。





文責 新川農林振興センター 林政普及班